

阿智村辺地対策総合整備計画
(第2次変更)

平成30年度～令和4年度

令和2年 3月
阿 智 村

総 合 整 備 計 画 書

長野県 下伊那郡 阿智村 本谷園原辺地
(辺地の人口 **297**人 面積 3.7 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|----------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 濃間・中央・戸沢・園原・横川 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村駒2352-355 |
| (3) 辺地度点数 | 106点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、従来より農林業を育んできた農業地域のほか、古代東山道をはじめ史跡が多く残る「園原の里」の史跡とスキー場を合わせた観光地域として成り立っています。

整備計画に載せた**村道及び林道**については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっている一方で、観光シーズンには観光道路としての位置づけを持った道路としての機能も有しています。道路改良を行うことにより他の地域との生活基盤の格差を是正し、辺地住民の交通便利性を向上する計画です。また、地区内の橋りょう・**トンネル**については、花桃祭りや星空ナイトツアーなど観光バスの利用頻度も多い中で老朽化が進んでおり、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されています。**林道を通り登山に行く人も多い為、橋りょう・トンネルの修繕を行うことにより住民及び来村者の交通の安全を確保します。**

本村では森林の面積が全体の92%を占めており、本辺地も古くから林業に取り組んでいる地域です。林道を整備することにより、木材を安全で容易に搬出できる様になり、搬出量の増加や作業時間の短縮などが期待できます。

本辺地の児童は通学にスクールバスを利用していますが、そのバスが村の巡回バスも兼ねており、一部児童がバスの時間に間に合わないときには村職員が臨時で送迎しています。専用のスクールバスを配備することにより、通学の不便さが解消されるだけでなく、安全に登下校できることが期待されます。

平成27年3月に策定した阿智村子ども・子育て支援事業計画に基づき、本辺地にも智里西保育園がありますが、老朽化が進んでおり今後も子供たちが安全に保育園生活を送るためにも改修が必要となります。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和4年度までの5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
村道改良4-326号線 (戸沢)	阿智村	(27,500) 27,500		(27,500) 27,500	(27,500) 27,500
村道改良1-14号線及び4-324号線 (戸沢)		(11,000) 11,000		(11,000) 11,000	(11,000) 11,000
村道改良2-17号線 (中央)		(64,000) 64,000	(30,500) 30,500	(33,500) 33,500	(33,500) 33,500
智里西保育園改築工事		(121,200) 121,200		(121,200) 121,200	(121,200) 121,200
小学校スクールバス購入		(8,000) 8,000		(8,000) 8,000	(7,000) 7,000
橋りょう修繕 本谷川橋		(100,000) 100,000	(63,200) 63,200	(36,800) 36,800	(36,800) 36,800
橋りょう修繕 割石大橋		(70,000) 70,000	(44,200) 44,200	(25,800) 25,800	(25,800) 25,800
林道改良 弓の又線		(0) 30,000		(0) 30,000	(0) 30,000
橋りょう修繕 弓の又2号橋		(0) 7,000	(0) 1,900	(0) 5,100	(0) 5,100
橋りょう修繕 大谷霧ヶ原1号橋		(0) 7,000	(0) 1,900	(0) 5,100	(0) 5,100
橋りょう修繕 大谷霧ヶ原2号橋		(0) 8,400	(0) 2,500	(0) 5,900	(0) 5,900
トンネル修繕 大谷霧ヶ原1号トンネル		(0) 11,000	(0) 4,500	(0) 6,500	(0) 6,500
合 計		(401,700) 465,100	(137,900) 148,700	(263,800) 316,400	(262,800) 315,400

総 合 整 備 計 画 書

長野県 下伊那郡 阿智村 浪合北部辺地
(辺地の人口 **170**人 面積 2.7 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 恩田・荒谷 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村浪合384 |
| (3) 辺地度点数 | 119点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、標高1200mに位置する積雪寒冷地域であり、従来より農業を営んできた地域と、ゴルフ場、スキー場、農業体験施設などの観光を中心とした地域とで構成されていますが、若者の流出が著しく後継者不足により年々過疎化が進んでいます。観光では国道153号線沿いにあり観光地としての環境には恵まれているものの、昭和40年代に開発された地域ということもあり、入り込み客の増加が図られていない状況にあります。

整備計画に載せた**村道及び林道**については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっている一方で、**観光**シーズンには観光道路としての位置づけを持った道路としての機能を有しています。現在、村道・林道の老朽化が進みひび割れしているため、住民の日常生活に多大な支障をきたしており、道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。生活環境とあわせて、特産品の搬出路の確保も図られるため、主産業である農業の振興につながることや観光道路として集客性を高められることも期待されます。

また、国道153号線の迂回路として利用される路線は、生活道路としての位置づけだけでなく国道通行止めの際に多くの車両の通行が見込まれます。整備計画に載せた当該橋りょうについて、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されており、修繕を行うことで交通の安全性を確保します。

本辺地を含む浪合地区は村の中でも標高が高く、積雪量も多い地域です。他の地区に比べ凍結防止剤散布車の稼働期間も長く、老朽化が進んでいます。凍結防止剤散布車を更新することにより、冬期の路面凍結を防ぎ、安全安心に通行ができるようになります。

本村では森林の面積が全体の92%を占めており、本辺地も古くから林業に取り組んでいる地域です。林道を整備することにより、木材を安全で容易に搬出できる様になり、搬出量の増加や作業時間の短縮などが期待できます。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和4年度までの5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
村道改良3-519号線(焼野線)	阿智村	(5,500)		(5,500)	(5,500)
		5,500		5,500	5,500
村道改良1-17号線(あららぎ線)		(5,500)		(5,500)	(5,500)
		5,500		5,500	5,500
村道改良4-643号線		(12,000)		(12,000)	(12,000)
		12,000		12,000	12,000
橋りょう修繕 貝立洞橋		(17,000)	(10,700)	(6,300)	(6,300)
		17,000	10,700	6,300	6,300
橋りょう修繕 三階橋		(35,000)	(22,100)	(12,900)	(12,900)
		35,000	22,100	12,900	12,900
凍結防止剤散布車更新	浪合中央部辺地 へ一括掲載				
林道改良 弓の又線		(0)		(0)	(0)
		70,000		70,000	70,000
合 計		(75,000)	(32,800)	(42,200)	(42,200)
		145,000	32,800	112,200	112,200

総 合 整 備 計 画 書

長野県 下伊那郡 阿智村 上清内路辺地
(辺地の人口 **209**人 面積 4.0 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 上一、二、三区 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村清内路2035 |
| (3) 辺地度数 | 1 3 2 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

上清内路辺地は、阿智村の最北部に位置し、北端は南木曾町に接しており、地区を縦断する国道256号線沿いに小さな集落が点在しています。

本地域は美濃・三河地方との交流が深く、ろくろ工芸や花火づくりなどの独特な文化が見受けられます。また、この地域には古くから農地を確保するため、各家々が墓を持たず、住民すべてが一つの同じ墓に入る「一山一墓」という制度が残っています。国内でも稀有なこの風習からは、地域住民の結びつきの強さを窺い知ることができる半面、墓を持つ場所を確保することも惜しまれるほど平地が少ない地域であるともいえます。

本辺地では人口減少と高齢化が進む中、雇用の確保が喫緊の課題となっています。キャンプ場や宿泊施設、テニスコートなどを備えた「ふるさと村自然園」にある屋外トイレの改修など整備を行うことにより、誘客を図るだけでなく雇用創出にもつながることが期待されます。また、農産物等の直売所「清内路健康の森」の整備を行うことにより道の駅の登録をめざします。道の駅に登録されることで当施設の認知度が上がり、地域の活性化につながることを期待されます。整備計画に載せた道路網については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっています。現在、村道の老朽化が進みひび割れしており、住民の日常生活に多大な支障をきたしています。そのため道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。また、地区内の橋りょうについては、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されています。橋りょうの修繕を行うことにより交通の安全を確保します。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和4年度までの5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
清内路健康の森整備事業	阿智村	(47,000)	(0)	(47,000)	(47,000)
		47,000	0	47,000	47,000
(60,000)			(60,000)	(60,000)	
60,000			60,000	60,000	
(15,000)			(15,000)	(15,000)	
15,000			15,000	15,000	
(0)		(0)	(0)	(0)	
28,800		18,200	10,600	10,600	
合 計		(122,000)	(0)	(122,000)	(122,000)
		150,800	18,200	132,600	132,600